



吐く息の白さが増すごとに、冬が深まってくるのを感じます。そんな中でも、子供たちは元気に鬼ごっこをしたりドッジボールをしたりと休み時間を楽しんでいます。体を動かすことで頭も活発に活動し学力アップにつながる、骨を丈夫にするビタミンDが作られるのを助ける、適度に日光を浴びることが視力の低下を防ぐなど、外で遊ぶことはいいことだらけです。家にこもってゲームばかりするのと真逆ですね。子ども達の冬休みが始まりました。事故や病気なく元気で楽しい毎日にしてほしいものです。クリスマスや大晦日、正月とワクワクすることがたくさんあります。日本の多くの人は宗教に強いこだわりがないので、いろんな行事が楽しめるのがいい点ですね。紛争がないことにも関係していますね。



「笑う門には福来る（わらうかどにはふくきたる）」

笑いが絶えない家にはいいことがやって来るとのことわざです。冬休み、家族で過ごすことがいつもより多くなると思います。ひとりで楽しむスマホやPCから離れ、家族でたわいもない話をしたりトランプやボードゲームをしたりしながら楽しむことが、笑う門につながることでしょう。4月から城東小学校も「楽しい学校」をめざして進んできました。ご理解とご協力をいただいた保護者や地域みなさんに感謝いたします。笑顔あふれる学校、笑顔あふれる校区となるよう、これからも共にがんばっていきましょう。



通知表の使い方

学期末になると通知表について学校だよりを書くことが多々あります。通知表は、学校での様子を伝えるものですが、上手に使えば子供の成長につながるものですが、下手に使えば子供がやる気をなくします。自己肯定感が下がるというやつですね。◎だけを数えて子供に「がんばったな」とか「ちゃんと勉強しいや」とか言うことで起こりがちです。2学期もがんばっていない子供は1人もいません。その子なりのがんばりがいろんなところにあります。普通に過ごしているだけでもすばらしいことです。それを通知表から見つけるのが学期末の親の仕事かもしれませんね。

少しでもがんばったところをたくさん認めてあげて、もう少しがんばったらいいところは、親と一緒にワクワクする方策を考える。誰もが新年を楽しく迎えられるように！

安全に過ごすために

保健室の先生としてお医者さんが来るという設定の「放課後カルテ」というドラマが放映されていました。その中で、命の大切さについて子供に強く訴える場面がありました。「しなくてもいい危険なことをすることが命を落とすことにつながる。友達がそうならないのか！」と。何もしてないのに事故にあってしまうこともあります。危険なことが起こるかもしれないことをあえてすることは避けたいです。大人は、ということが危険なのかを伝える必要があります。子供だけで川や海や池で遊ぶことは危険、自転車や徒歩で道路に飛び出すと危険、SNSでも公園でも知らない人と話すのは危険、暗くなると危険等。

冬休み、子供たちが安全に過ごせるようよろしくお願いします。